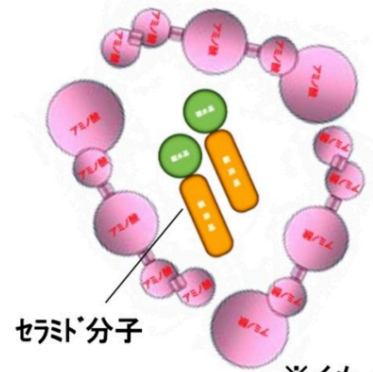


## 企業概要

【事業内容】 うなぎ専門店及びうなぎ製品の開発・生産・販売  
【設立】 1993年 【所在地】 静岡県  
【資本金】 300万円 【従業員数】 21名  
【支援商品】 うなぎコラーゲン・セラミドパウダーK1ペプチド®  
うなぎの頭に含まれる成分を手軽に摂取できるようパウダー化  
しました。①コラーゲンペプチドとセラミドを含有、②注目のヒト型  
セラミド、③純国産・天然由来、④大幅に臭いをカット、⑤各種検証  
試験済み、という特徴があります。

コラーゲンペプチド分子



※イメージ

## ➤ 支援の経緯

中小機構関東本部で地域資源事業の支援終了後に、経営支援部を通じて申し込みがあり、支援をスタートしました。

## ➤ 販路開拓面での課題

これまで地元特産品などに添加して販売してきた実績はあるものの本格的なマーケティング活動は経験がなく、BtoB向けの新たなビジネスモデル構築が課題でした。

## ➤ 第1段階：テストマーケティングの準備

チーフアドバイザーとマーケティング企画のブラッシュアップを行い、プレゼン資料を作成しました。

### ＜想定ターゲット＞

食品メーカー、化粧品メーカー

### ＜仮説内容＞

- ・コラーゲンペプチドとセラミドを同時に摂れる点で食品の付加価値を高める。
- ・天然由来100%なので添加商品の安心安全を提供できる。

## ➤ 第2段階：市場での仮説検証

4名の販路開拓コーディネーターが7社に14回の同行訪問を行いました。

### ＜テストマーケティングの内容＞

支援目標を、①受容性評価、②適用用途、最適な提供方法（製品およびライセンス、管理）、③ビジネスモデル構築に必要な商流、価格設定、販促方法等の確認とし、活動しました。

### ＜仮説の検証結果＞

- ・食品分野：幅広い商品への展開可能性を確認できました。常温粉末素材なので幅広い商品に適用できると高評価でした。
- ・化粧品分野：ヒト型セラミドについて高い関心がありました。成分の評価は高いものの、提供形状等に改善が求められました。
- ・進捗結果：見積書提出1社、モニター実施2社

### ＜新たな課題＞

- ・対象分野に適合する商品体系の整備
- ・提供形状などの商品改良
- ・原材料メーカーとの連携強化・共同開発

## ➤ 第3段階：成果のまとめと今後の取り組み

### 【具体的な成果】

- ・受容性評価：食品分野では、常温粉末素材であるために高付加価値商品開発の材料として有用であると評価を受けました。成分に対しての評価は高く、業界に適した改良点が確認できました。
- ・適用用途、最適な提供方法：食品分野では機能性表示商品、介護食（ソフリブランド）などに適用でき、化粧品分野では成分の単体抽出により可能性が広がるのが検証されました。
- ・商流、価格設定、販促方法：食品分野では、メーカーの商品開発への協力、化粧品分野では、原材料メーカーとの共同開発が効果的であることが判明しました。

### 【今後の取り組み】

今回の活動で収集できたさまざまな意見・評価・要望から明確になった新たな課題への対応により、今後、継続的なアプローチとさらなる製品改良に努め、良質うなぎコラーゲンとセラミドを全国に普及できるよう営業展開を推進していきます。